

ノート 1 : 線形空間

1-1. 線形空間の定義

K を実数の全体 \mathbf{R} または複素数の全体 \mathbf{C} とする.

空でない集合 V に対して, 次の各条件 (線形空間の公理という) が満たされるならば, V を K 上の線形空間またはベクトル空間という.

(I) V の任意の 2 元 \mathbf{a}, \mathbf{b} に対して, 和 $\mathbf{a} + \mathbf{b} \in V$ が定義されていて, 教科書 P.71 の (1)–(4) を満たす.

(II) V の任意の元 \mathbf{a} と K の任意の元 λ に対して, スカラー倍 $\lambda \mathbf{a} \in V$ が定義されていて, 教科書 P.71 の (5)–(8) を満たす.

線形空間 V の元はベクトル, K の元はスカラーとよばれる.

$K = \mathbf{R}$ のとき V を実線形空間, $K = \mathbf{C}$ のとき V を複素線形空間という.

例 1-1 : 3 項列ベクトルの全体 \mathbf{R}^3 において, 和と実数倍をそれぞれ,

$$\begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_1 + b_1 \\ a_2 + b_2 \\ a_3 + b_3 \end{pmatrix}, \quad \lambda \begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \lambda a_1 \\ \lambda a_2 \\ \lambda a_3 \end{pmatrix}$$

と定義すると, \mathbf{R}^3 は実線形空間になる. 同様にして n 項列ベクトルの全体 \mathbf{R}^n は実線形空間になり, また複素数からなる n 項列ベクトル全体 \mathbf{C}^n は複素線形空間になる.

注 1-1 : 線形空間の公理は, \mathbf{R}^n が持ついくつかの性質を抜き出し, 抽象化したもの.

例 1-2 : 実係数の多項式全体は \mathbf{R} 上の線形空間になる.

例 1-3 : \mathbf{R} 上で定義された実数値関数全体からなる集合を F とする. このとき, $f, g \in F$, $c \in \mathbf{R}$ に対し, $(f + g)(x) = f(x) + g(x)$, $(cf)(x) = cf(x)$ によって和とスカラー倍を定義すると, F は \mathbf{R} 上の線形空間になる.

注 1-2 : 零ベクトルはただ 1 つで, 任意の $\lambda \in K$ に対し, $\lambda \mathbf{0} = \mathbf{0}$.

注 1-3 : $\mathbf{a} \in V$ に対して, 逆ベクトル $-\mathbf{a}$ はただ 1 つで, $-\mathbf{a} = (-1)\mathbf{a}$.

補足 1-1 : $\mathbf{a} + (-\mathbf{b})$ を $\mathbf{a} - \mathbf{b}$ とかく.

1-2. 部分空間

K 上の線形空間 V と $W \subseteq V$ に対し,

$$(i) \mathbf{a}, \mathbf{b} \in W \Rightarrow \mathbf{a} + \mathbf{b} \in W$$

$$(ii) \lambda \in K, \mathbf{a} \in W \Rightarrow \lambda \mathbf{a} \in W$$

が共に成り立つとき, W を V の部分空間という.

注 1-4 : W が線形空間 V の部分空間ならば W も線形空間.

注 1-5 : $\{\mathbf{0}\}, V$ は部分空間.

補足 1-2 : (i) かつ (ii) の条件は次の (iii) と同値.

$$(iii) \lambda, \mu \in K, \mathbf{a}, \mathbf{b} \in W \Rightarrow \lambda \mathbf{a} + \mu \mathbf{b} \in W$$

例 1-3 : $W = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} : x + 2y - z = 0 \right\}$ が \mathbf{R}^3 の部分空間であるかどうか調べよ.

解答 :

例 1-4 : $W = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} : x + y + z = 1 \right\}$ が \mathbf{R}^3 の部分空間であるかどうか調べよ.

解答 :

補足 1-3 : \mathbf{R}^3 の部分空間は原点を通る平面, 直線, 原点のみ, のいずれか.

例 1-5 : $m \times n$ 行列 A に対し, $W = \{\mathbf{x} \in \mathbf{R}^n : A\mathbf{x} = \mathbf{0}\}$ が \mathbf{R}^n の部分空間であることを示せ.

解答 :